

2019年度 第3回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2019年8月6日(火) 17時50分～19時15分
開催施設 参加者数	金沢大学15名、富山大学13名、福井大学3名、金沢医科大学6名、石川県立看護大学10名、信州大学9名、 金沢医療センター7名、金沢赤十字病院0名、公立松任石川中央病院5名、石川県立中央病院3名、 富山市民病院4名、高岡市民病院6名、富山赤十字病院0名、富山県済生会富山病院4名、 富山県済生会高岡病院6名、黒部市民病院6名、富山県立中央病院1名、 合計98名
テーマ	「AYA世代の乳がん患者の対応に苦慮した事例」
発表者	金沢医科大学病院 上埜 千春さん
<p>【意見交換内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者が、したいことや優先したいことを一緒に考えることや、患者の思いを支えることが必要だと意見交換された。 ・看護師だけでなく多職種で関わり、お互いの情報を共有していくことの大切さについて意見交換された。 <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者に何を優先したいのか尋ねると良かったのではないと思う。 ・予後告知はされていなかったが、情報収集できる年代であるため、患者本人は何となく察していたのかもしれない。 ・患者本人に何を知りたいのか(病状や予後について)確認が必要だったと思う。多職種カンファレンスも必要があったのかもしれない。 ・予後が伝えられていても、治療は継続できたのではないと思う。 	
ミニレクチャー	「AYA世代のがん看護」